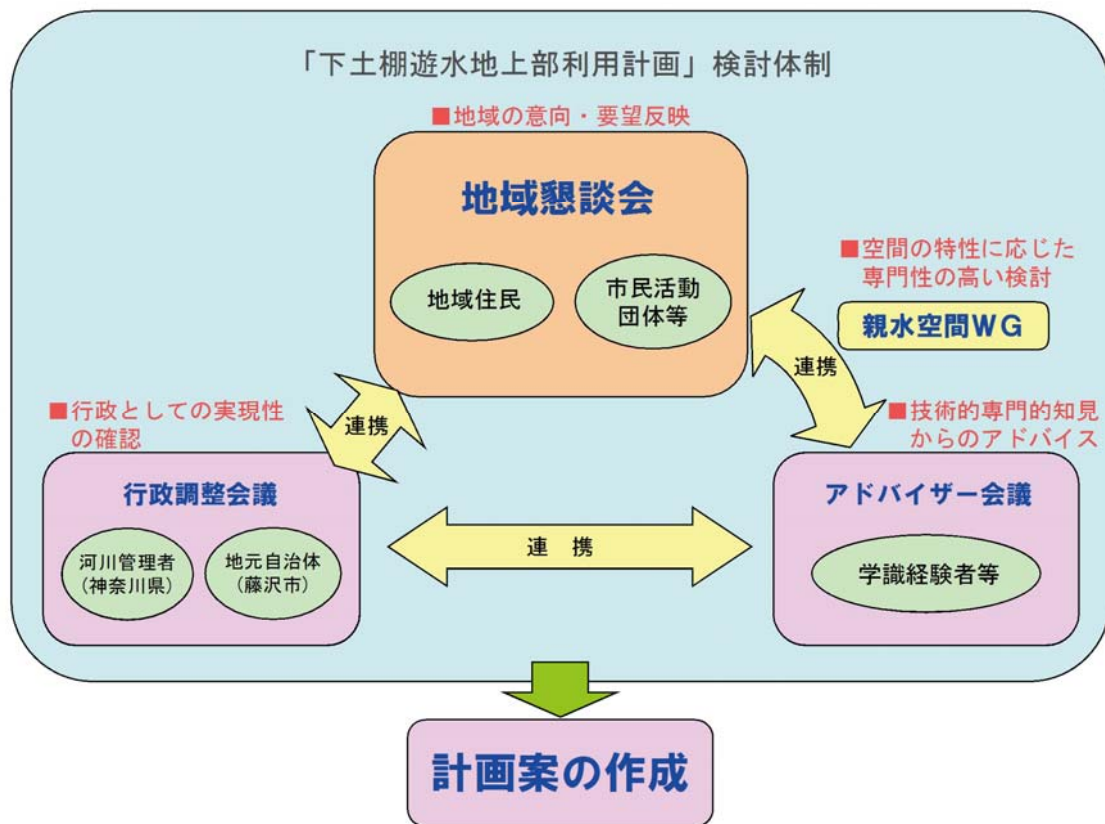


今後の予定

1. 次年度の検討体制

- ・平成 24 年度は、地域懇談会において、地域の方の意見を伺いながら検討を進めていくことで、地域の意向や要望を反映した下土棚遊水地上部利用計画(素案)を作成しました。
- ・平成 25 年度は、下土棚遊水地上部利用計画(案)の実現に向け、維持管理・運営に関して検討を行うとともに、導入施設について、より具体的な検討を行います。
- ・特にB池の親水広場及び湿生観察園については、より専門的な見地により、整備内容を重点的に議論する必要があるため、地域懇談会とアドバイザー会議が連携するかたちで、親水空間ワーキンググループ(WG)を設立したいと考えております。

■平成 25 年度の検討体制(案)



■親水空間 WG について

□対象

- ・親水広場及び湿生観察園(B池)

□委員(案)

- ・地域懇談会、アドバイザー会議の委員のうち、親水空間について、特に専門的な知見を持たれている方
- ・その他、委員として適当であると認められる方

□検討内容(案):

- ・生態系が機能する空間づくり
- ・導入機能及び施設
- ・維持管理の方針 等

2. H25年度の実施フロー(案)

○導入機能・施設および維持管理に関する検討を行う。

